



コルテス 伊藤の我が音楽人生

第12回 現代音楽事情再び

こんにちは、先生方いかがお過ごしですか。

なんだかんだ言って、投稿も12回になりました。読んで頂いてる先生方、保険医協会の皆様ありがとうございます。

ひたちなか市のROCK IN JAPANも無事に終わりましたね。先日、WOWWOWのダイジェスト版で見させていただきました。正直、あれで良いのでしょうか？ 女の子のバンドがめちゃくちゃ増えていまして、ギター持って弾いているかいないかはわかりませんが、バンドセンターに女の子がいる確率は相当高い感じがしました。ただ、楽器を持っているならまだ良いほうで、20人くらいの女の子がカラオケに合わせて踊り歌うのはもう勘弁してほしいですね。見なきゃよいのでしょうか、友達の素晴らしいバンドも出ていますから（扱的には年々悪くなっているみたい）。

ところで、先日コルテスではFOLKSONGのライブを初めてやりました。ジャズのライブを中心に行ってはおりますが、時々ロックもやっていますから不自然ではないのですが。しかし、どんなライブだったかと申しますと、YouTubeを見まして「この人いいな」と思いました。突然聴きたい衝動にかられました。

直ぐにFBからアプローチ方法を検索し、直接、出演依頼をしてみましたら快諾していただきました。



その方は大分県で音楽活動をしていらっしゃる似勢正三さんです。もちろんプロではありません。詳しい方はピンときたと思います。そうで、かぐや姫、風、などで活躍した伊勢正三さんをトリビュートしている方です。伊勢正三さんは現在もソロで活躍しており、コアなファンが沢山いて、釣りなどでも有名な

方です。代表作は「なごり雪」「22歳の別れ」「君と歩いた青春」など名曲も多くありますね。似勢さんは唄も、ギターも素晴らしく私の目に狂いは無かったと自負しております。どうぞ先生方、YouTubeで検索しご覧になってみて下さい。大分から飛行機で茨城に来た彼の心意気も感じ取っていただけたらと思います。

CDが全く売れない状況みたいですね。その代わりレコードが売れているようですが、私にはそうも思えないことが多々あります。若い世代は本当にレコードを買うことに喜びを見出しているのでしょうか？ 何でも簡単に行える今、レコードをターンテーブルに乗せて針を落とす行為を若い方がやっている様には思えないのです。プレーヤーも安価なものから高価なものまであり、カートリッジも一つ5,000円から100万円を超えるものまで、アナログレコードの世界は奥深く、真剣にやっている世代は50代以上の方なんじゃないかな。若い方はネットから無料でダウンロードして楽しむ方がほとんどだと思います。若しくは、音楽自体に全く関心がない。

音楽事業をやっているながらこんなことを言っていますが、事実なので仕方ないとは思っています。最近、ライブのお誘いをしてなんのアクションもない方々もいたりして、少し寂しいと思う次第です。

どうぞ、生の音楽に触れてみて下さい。違う自分に目覚めますよ。

さて、コルテスはアナログ誌に続いてNET AUDIO誌にも特集されました。10月19日発売の最新号です。4ページに渡り掲載されておりまして。ぜひともご覧になってください。



前回のコラムで紹介させていただきました、MICHEL REISのソロピアノがダウンロードできます。

閉店に追い込まれていく音楽関係のお店が多いみたいです。明日は我が身かと思うこともあります。まだまだ頑張ってみようと思っています。音楽の無い世界は考えられません。どうぞ先生方、よろしければレコード、CDなどご自分で持参しコルテスに来て下さい、心の中の青春時代が蘇りますよ。私はコレステロールの薬は2mgに増えました(笑)。

今回はコルテス6周年の話題を中心におとどけます。

(ひたちなか市 伊藤歯科医院・伊藤輝彦)